

みずほCustomer Desk Report 2017/01/27号(As of 2017/01/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.16 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.28	1.0753	121.81	0.9990	1.2635	0.7575
SYD-NY High	114.86	1.0766	122.66	1.0025	1.2674	0.7585
SYD-NY Low	113.05	1.0658	121.69	0.9969	1.2557	0.7522
NY 5:00 PM	114.53	1.0682	122.30	1.0001	1.2591	0.7533
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.575/12.3		△25RR	0.263	Yen Call Over	
NY DOW	20,100.91	32.40	債券市場			
NASDAQ	5,655.18	▲1.16	日本2年債	-0.2040	1.4bp	
S&P	2,296.68	▲1.69	日本10年債	0.0910	1.7bp	
日経平均	19,402.39	344.89	米国2年債	1.2242	▲1.0bp	
TOPIX	1,545.01	23.43	米国5年債	1.9657	▲1.1bp	
シカゴ日経先物	19,540	290.00	米国10年債	2.5043	▲0.7bp	
ロンドンFT	7,161.49	▲2.94	独10年債	0.4840	2.0bp	
DAX	11,848.63	42.58	英10年債	1.5150	4.4bp	
ハンセン指数	23,374.17	325.05	豪10年債	2.7300	-	
上海総合	3,159.17	9.61	為替市況	USD/CNH	6.8503	0.0226
USDJPY 3M Vol	12.08	▲0.06%	商品市況	ドルインデックス	100.52	0.49
USDJPY 6M Vol	12.09	▲0.03%	CRB指数	194.256	0.28	
EURJPY 3M Vol	10.64	0.13%	NY金	1,192.50	▲8.00	
EURJPY 6M Vol	11.95	0.06%	WTI	53.78	1.03	
			Dubai Spot	53.52	0.54	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月26日	8:50	対外・対内証券投資	-	-
	16:00	GK消費者信頼感	2月	10.2
	18:30	GDP・速報値(前期比/前年比)	4Q	0.6%/2.2%
	20:00	メルシュECB理事講演	-	-
	22:30	卸売在庫・速報値(前年比)	12月	1.0%
	22:30	新規失業保険申請件数	-	259K
	23:45	マークイットサービス業/総合PMI・速報値	1月	55.1/55.4
1月27日	0:00	新築住宅販売件数	12月	536K
	0:00	景気先行指数	12月	0.5%

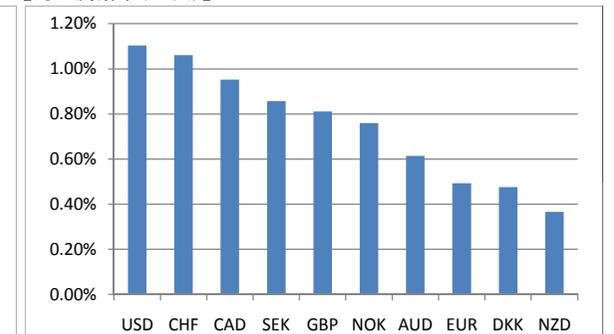
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月27日	8:30	CPI/コア/コアコア(前年比)	12月	0.2%/-0.3%/-0.1%
	22:30	GDP・速報値(年率/前期比)	4Q	2.2%
	22:30	個人消費・速報値(前期比/前年比)	4Q	2.5%
	22:30	耐久財受注/除く輸送用機器(前月比)	12月	2.5%/0.5%
1月28日	0:00	ミシガン大学消費者信頼感指数・確報値	1月	98.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.00-115.20	1.0620-1.0760	121.50-123.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円相場は堅調な展開。前日に米長期金利が上昇し、米株も全般的に堅調推移した中、昨日も堅調推移が続き良好な原油市況などリスクセンチメントを好転させる格好でドル円は114円台後半まで上値を伸ばした。本日のドル円相場は前日の流れを引き継ぎ底堅い展開を予想する。本日は米第4四半期GDP速報値の発表を予定している他、米英首脳会談も予定されており、両国間における自由貿易協定締結交渉開始に向けた作業部会設置の可能性も予想されている。GDP速報や首脳会談が前向きな内容となれば、ドル円はやや上値を試す展開となるだろう。

東京	東京時間のドル円は113.28レベルでオープン。オープン後、一時113.05を付ける場面が見られたものの、前日安値レベル(113.04)できれいにサポートされる格好となり、113円近辺の底堅さを確認したことで次第に反発する展開。日経平均株価が200円超上昇して寄り付いた後、徐々に上げ幅を拡大したこともドル円の下値を支える材料となり、113.40近辺まで上昇した。午後に入り、横ばい推移が続いていたものの、東京時間引けにかけて全体的にドル買いの流れが強まると、一時113.63を付けて113.59レベルで海外市場に渡った。一方で、ユーロは1.0753レベルで東京時間オープン。特段目新しい材料の無い中、動意に乏しい推移が続いていたものの、ロンドン時間入り際にドル買い優勢の流れとなると、1.0744まで小幅に下落して同水準で海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は113.59レベルでオープン。昨日の米株高・金利上昇にドル相場は反応しなかったことが市場参加者から注目され、ロンドン時間オープン後にドル買い優勢の展開となると114円台前半まで上昇。その後は横ばい推移となり114.38レベルにてNYへ渡った。本ドルは1.2645レベルでオープン。英10-12半期GDP・速報値が+0.6%(予想+0.5%)と市場予想を上回る数字となるも、マーケットの反応は限定的。その後、ドル高の影響を受けて下落する流れとなり1.2572レベルで海外市場に渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は114.38レベルでオープン。朝方は、新規失業保険申請件数が予想比弱めの結果となったことから114.08まで反落。しかしOPECが減産合意に合わせ生産量を縮小していることが確認され、WTI原油が上昇するとドル円も連れ高となり、高値114.86まで上昇した。その後、114円台後半での推移が続いたが、前日トランプ米大統領がメキシコの移民管理を強化する大統領令に署名したことで、メキシコ大統領が予定されていたトランプ氏との首脳会談をキャンセルし、トランプ氏もまたメキシコに20%の関税をかけることを発言したことから、両国の通商政策の懸念からリスク回避の動きが強まりドル円は114.26まで反落。株式市場引け後に発表された米大手IT企業の決算が良好であったことから、ドル円はやや持ち直し114.53レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロは1.0710レベルでNYオープン。朝方は下値を試す値動きに一時1.0658まで下落も、1.06半ばレベルでは底堅い推移となり、1.0682レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。